



インドネシア・カリマンタン工科大学と理工学部が部局間協定を締結

【概要】

令和2年1月8日（水）に、理工学部長 豊田 一彦 教授と理工学部化学部門長 富永 昌人 教授がインドネシア・カリマンタン工科大学を訪問し、部局間協定を締結しました。引き続き、同大学にて両教授が招待講演を行いました。

【本文】

令和2年1月8日（水）に、理工学部長 豊田 一彦教授と化学部門長 富永 昌人 教授がインドネシアのカリマンタン島南部バリックパパンに位置するカリマンタン工科大学を訪問し、理工学部との間で部局間協定を締結しました。カリマンタン工科大学は、5年前に設立された新しい大学ですが、インドネシアの新首都予定地から約40kmの距離に位置しており、将来の発展が大いに期待されます。部局間協定の調印式には学長と国際担当副学長が出席されました。

調印式の終了後、豊田学部長は「Education Programs and Research Activities at The Faculty of Science and Engineering」のタイトルで、富永化学部門長は「Conversion of Chemical Energy to Electrical Energy Using Bioelectrochemical Techniques」のタイトルで、同大学の教員と学生を対象にした招待講演を行いました。



部局間協定の調印式（左から、カリマンタン工科大学学長、豊田理工学部長、カリマンタン工科大学副学長（国際担当）、富永化学部門長）